

平成27年度第1回エデューカーレ in たかはし

X年後の未来

～ あなたの笑顔を探してみませんか？ ～

報 告 書

開催日時：平成27年6月20日(土) 13時30分～17時30分

会 場：吉備国際大学国際交流会館2階多目的ホール

主 催：エデューカーレ in たかはし実行委員会
後 援：高梁市、高梁商工会議所青年部
協 力：吉備国際大学社会科学部 井勝研究室
吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室
吉備国際大学外国語学部 大下（朋）研究室

1. はじめに

今回のエデュカーレ in たかはしではフューチャーセッションを体験することにしました。フューチャーセッションはこれまで行われてきた会議やワークショップとは違う考え方です。これまでの会議やワークショップは唯一の解答を求めていましたが、フューチャーセッションでは多様な満足解を求めます。そのため、これまでの私たちの思考回路ではフューチャーセッションを理解することは難しいと思います。そこで今回、岡山におけるフューチャーセッションの第一人者である林俊克先生をお招きして、フューチャーセッションを体験することにしました。

フューチャーセッションは他人の意見を否定しないという観点により、個々人が大いに意見の発言ができる場になったと思います。

2. 実施内容

1) 全体プログラム

全体プログラムの概要を以下にまとめた。プログラム全体の流れについてはプログラムシートを掲載しました。

① オープニング

- ・ 開始の挨拶
- ・ プログラムの紹介
- ・ 注意事項の説明

② 講義

- ・ フューチャーセッションの理解
- ・ 林先生によるフューチャーセッションの説明

③ チェックイン

- ・ 名前と在住地、出身地、最近出会った素敵な笑顔、人ことアピールを書いた紙を持って各自歩き回り自己紹介を行った。

④ ストーリーテリング

- ・ 3人で一組を作って5分間ずつ笑顔になれる時を話す人と聞き役と書く人に分かれて行った。

⑤ プロアクションカフェ

- ・ 6人の代表者が各自テーマを決めてそのテーマについて3つのお題を出してそれについてグループで話し合った。

⑥ チェックアウト・まとめ

- ・ 最後に自分のこれからの行動と今日の気づきを一人ずつ発表した。

2) 講師及びフューチャーセッションファシリテーター

林 俊克 先生（就実大学経営学部 教授）

プログラムシート

研修会等名称:平成27年度第1回エデュケーレ in たかはし

WSタイトル:X年後の未来 ～あなたの笑顔をさがしてみませんか?～

狙い/成果
 目的
 フューチャーセッションの体験、笑顔あふれる生き方の共有、
 目標
 参加者各自が生き方を考えるきっかけとなること

対象者/人数 対象者:40人が目標 市民20人、大学生15人、高校生5	時間/場所 場所:吉備国際大学国際交流会館 時間:13:30~17:30
---	--

	時間	狙い/目標	活動内容	進行役	場の設定と準備品
開始	13:30	オープニング	・開始の宣言 ・配付資料の説明	荒木	・シアター型 ・椅子のみ ・司会者用メモを準備 ・マイク準備
開会挨拶	13:30 (2分)	・趣旨を理解してもらう ・実行委員の紹介	・フューチャーセッションの紹介を入れる	在末	・シアター型 ・椅子のみ
予定の説明	13:32 (3分)	・予定の説明 ・注意事項の説明	・本日の予定 ・注意事項	荒木	・シアター型 ・椅子のみ
講義	13:35 (25分)	・フューチャーセッションの理解	・フューチャーセッションの説明	林先生	・パワーポイントで説明 ・パソコン ・プロジェクター
アクティビティ	14:00 (3時間 15分)	・フューチャーセッション	・チェックイン ・ストーリーテリング ・プロアクションカフェ ・チェックアウト	林先生	・ホワイトボード ・磁石 ・A4用紙 ・チェックインシート ・テーブル ・模造紙 ・ポストイット ・マーカー
エンディング	17:15 (15分)	・まとめ ・アンケート記入	・おわりの挨拶(徳田)	荒木	・アンケート

【会場レイアウト等】

- ・開始時は前部に椅子のみの場所、後部にテーブルを準備する。
- ・プロジェクター、パソコン等をセッティング
- ・ワーク用テーブル(長椅子2脚を使用)6箇所準備(各テーブルには1~6の番号を振っておく)状況に応じて追加する。
- ・椅子を人数分準備(半円状に並べる。プロジェクターを囲むように)
- ・A4用紙が8枚貼れるよう、ホワイトボード、マグネットを準備
- ・各テーブルにはメモができるように、A4の白紙を人数分以上、模造紙を1枚広げておく。ポストイットを数束、多色のペンを人数分以上をセットしておく。

【会場の雰囲気づくり】

- ・開始前にDVDを上映、ワーク中は音楽を流す。
- ・飲み物とお菓子を用意。
- ・非日常的で楽しい「おもてなし」感を極力演出。明るく楽しい雰囲気を演出

【準備物等】

- ①ワークショップ用品
・模造紙・ポストイット・マーカー・テープ・はさみ・磁石・タイマー・笛・指し棒・ストップウォッチ・A4用紙
- ②プロジェクター
- ③スクリーン
- ④ホワイトボード
- ⑤ポインター
- ⑥カメラ
- ⑦放送機器一式
- ⑧CDプレーヤー
- ⑨飲み物、コップ、おやつ、チョコレート、アメ等
- ⑩菓子盆
- ⑪名札
- ⑫アンケート回収用の箱
- ⑬名札回収用の箱

3. 実施結果

1) チェックイン

フューチャーセッションを行う前に、チェックインとして自己紹介を行った。やり方として参加者全員が各自、「名前・ニックネーム」「出身地・移住地」「最近出会った素敵な笑顔」「ひとことアピール」を書いた紙を胸元に持ち、5分間という時間内で会場内を歩き回り、できるだけ多くの人と自己紹介を行いました。

2) ストーリーテリング

ストーリーテリングは、互助の関係性を構築しながら、問題を掘り下げ、多様な気づきを得るためのセッションの手法です。

まず、3人一組になり、インタビュー係、語り手、記録係という3つの役割に分かれます。インタビュー係は、語り手が話を始めやすくしたり、話を掘り下げる質問をしたりします。記録係は、語り手の話をメモを取りながら傾聴します。最後に、記録係は、語り手が話し終わった後、メモを参照にしながら物語をサマリーし、語り手とインタビュー係にフィードバックします。

今回は、「自分が笑顔になれるときはいつですか？」というテーマで、3人1組に分かれてストーリーテリングを行いました。

3) プロアクションカフェ

プロアクションカフェは知恵や知識を共有・可視化するために行うセッション手法です。

まず、複数の参加者が問いに関連した考えたいテーマを提起し、そのプロジェクトの背景や想いを説明します。グループに分かれて①足りないもの、必要なものは何か？ ②直ちに始めたい行動は何か？ ③他にどういう支援が必要か？ について対話していきます。グループメンバーを変えながら続けていきます。

今回は、X年後の未来のために、各自が生き方を考えるきっかけとなることが必要であると考え、「笑顔のために必要となることは何か？」というテーマでプロアクションカフェを行いました。

6名の参加者が自主的にテーマを出し、参加者の代表者6名により、下記の項目が提案されました。

- 1：ボランティアをする
- 2：真面目にバカをやる
- 3：19年後、娘と妻、従業員が笑顔で過ごすために
- 4：人間性は馬鹿にせずにバカなことをしているなあ、と聞いている
- 5：自分を大切に
- 6：街コン

以下にプロアクションカフェの結果をまとめました。

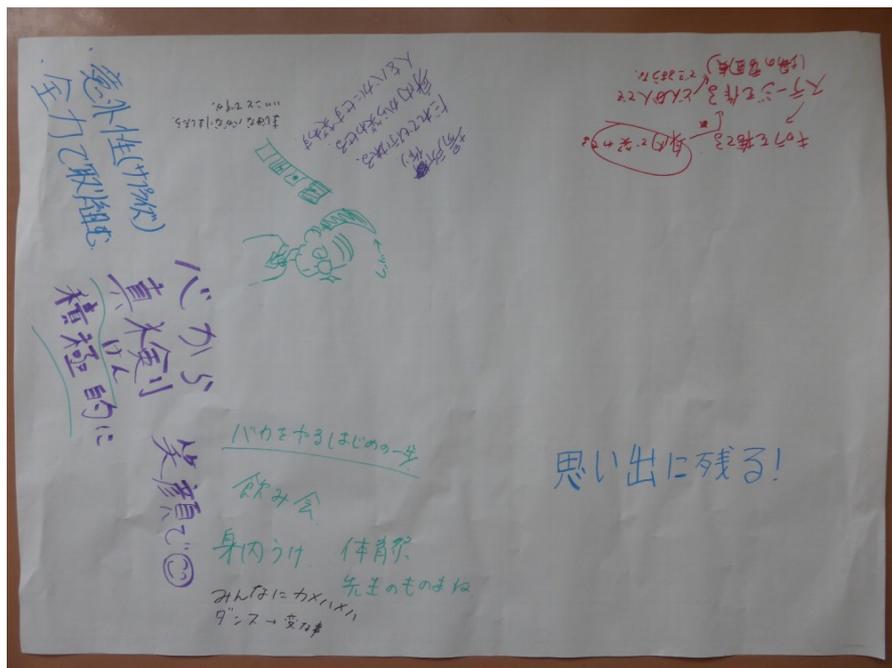
①ボランティアをする

この案では、ボランティアをすることが笑顔につながると考えました。そのためにボランティアをするにあたって、支援、情報交換、時間が大切なのではないかとまとめました。



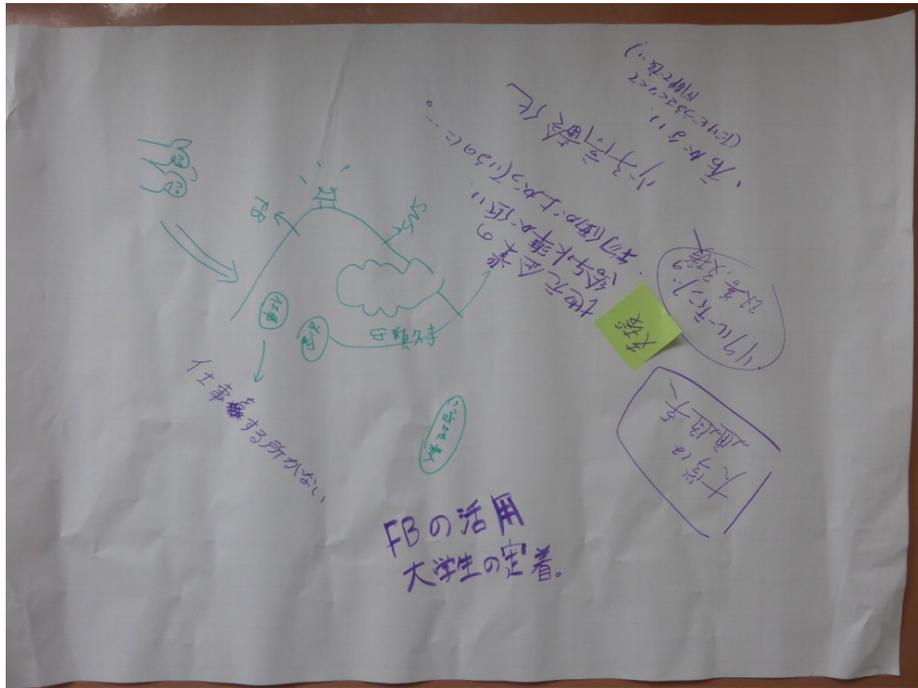
②真面目にバカをやる

この案では真面目にバカをして、どう皆を楽しませるかについてまとめました。最終的に思い出に残る楽しい記憶になるように、自分も積極的になることが大切だと考えました。



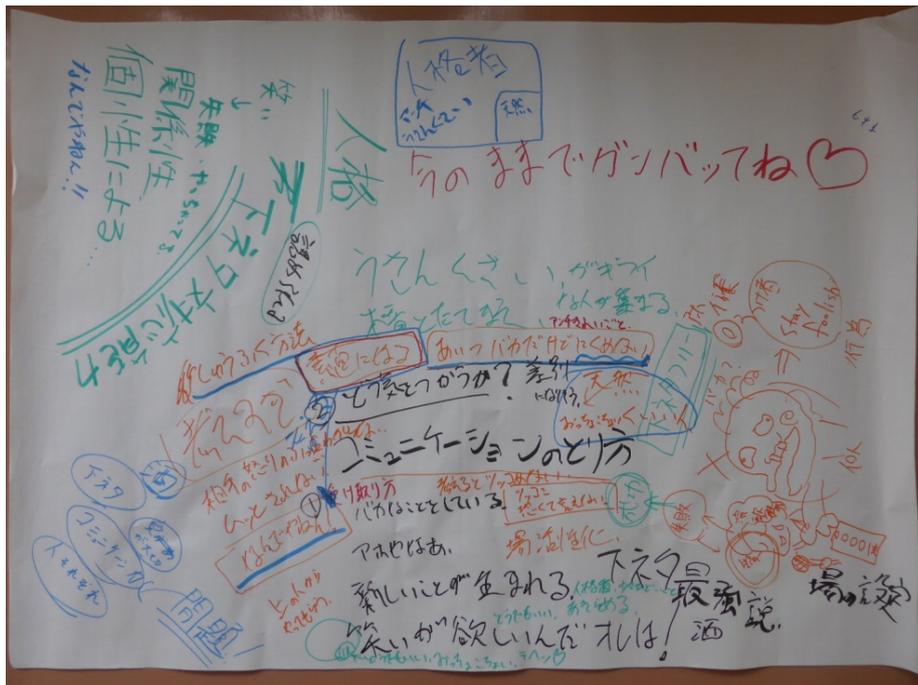
③19年後、娘と妻、従業員が笑顔で過ごすために

この案では、自分の周りの人を笑顔にするために、地域(主に高梁市)の問題点を挙げまとめました。最終的に支援が必要であることが分かりました。



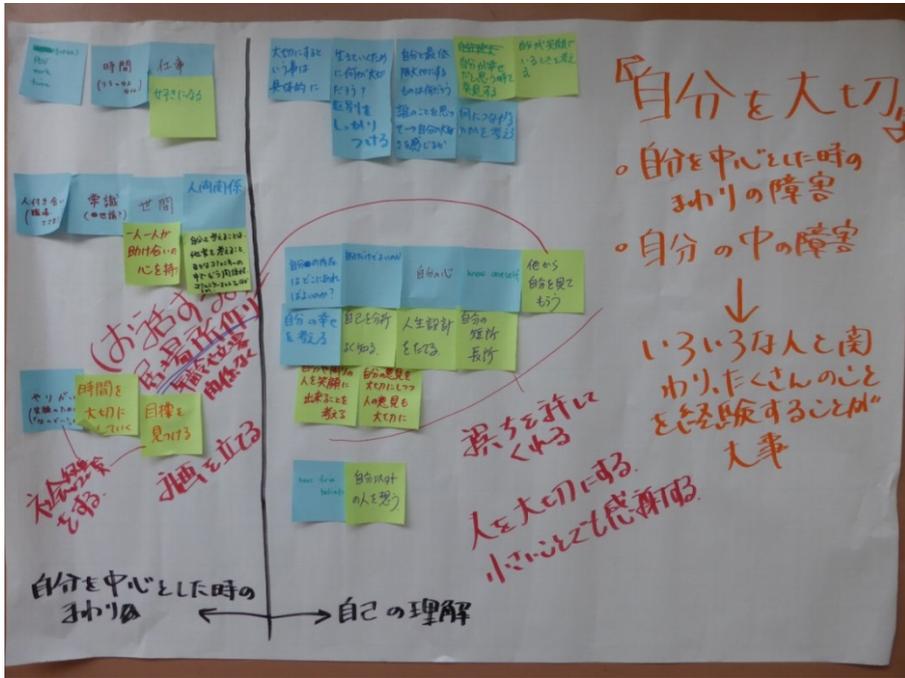
④人間性は馬鹿にせずバカなことをしているなあ、と聞いている

この案では、人を笑顔にするためのコミュニケーションの取り方が重要であると考えました。最終的には、今の自分のありのままであることも大切だと考えました。



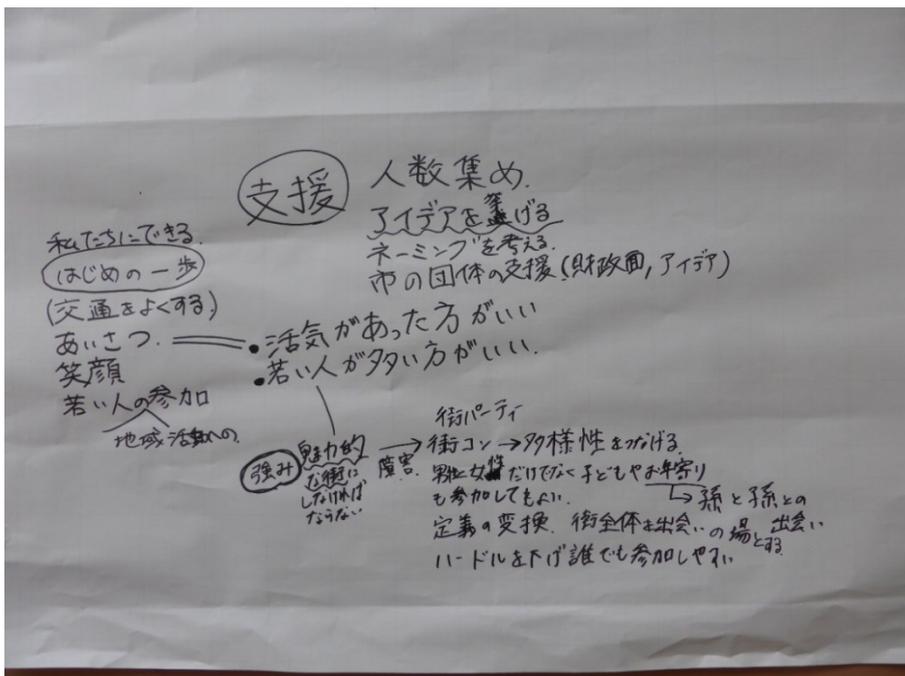
⑤自分を大切に

この案では、自分を大切にするためには何を意識すべきか、また障害は何かを考えだしまとめました。最終的に、色々な人と関わりをもち、たくさんの事を経験することが大切だととめました。



⑥街コン

この案では、男女の交流と地域の人とのつながりを重要なこととして考え笑顔あふれる街づくりのために地域の人が交流できるために何が必要かを考えました。最終的にだれでも参加しやすい雰囲気のある街コンが大切ではないかと考えました。



4) チェックアウト

参加者各自がフューチャーセッションを通しての気づきと、これからの自分の行動を考え発表を行いました。

①気づき

- ・ 普通な時が一番幸せな時、だからこそ笑顔がある
- ・ みんなの考え方が面白かった。笑顔は大切なこと
- ・ 未来のことを一人で考えるよりみんなで考えるほうがいい
- ・ 「あいつバカだけど憎めないよね」は、最強である
- ・ 高梁の良さは高梁出身者以外の人に聞くべき
- ・ みんなで考えれば道は開ける
- ・ 雰囲気がよく、自分の意見をしっかり出すことができ、他人の意見も知ることができた
- ・ コミュニケーションを人と取ることが大切だと思った
- ・ 人の話を聞くのは難しい、質問するのも難しい。いかに興味が持てるか
- ・ 年齢に差を感じない。14～78歳
- ・ 人の考え方は様々で、数式のように答えは一つではない
- ・ 考えすぎなくてもいい
- ・ 多国籍の方々と様々な年齢の方と話し合えて大変有意義でした
- ・ (知らない人)と話すことの大切さ
- ・ 元気な学生がいっぱい。国際色豊か。多様性
- ・ 自由な雰囲気、生活の中で大切。美しいところ
- ・ 人とのかかわりの中から、自分の笑顔が生まれる
- ・ いろんな考え方に会えて楽しかった
- ・ 会議がとても面白いということ
- ・ 一人で考えるよりもみんなで考えると良いアイデアが出る
- ・ 十人十色
- ・ 笑顔の大切さと笑顔の元
- ・ 20センチうなずくことは大きくなれる
- ・ 成長
- ・ 人の話を受け入れるむずかしさ
- ・ 一人一人が自分の意見をちゃんと持っている
- ・ 笑顔になることが意外と多いんだな
- ・ 話だけではなく聞くことも大切です
- ・ みんなの意見をもって色々みんな笑顔に

②これから行動すること

- ・隣の人に笑顔をあげる
- ・いろいろな人とご飯に行く
- ・未来を想像し目標を立てる
- ・目標を立てる
- ・とりあえず動いてみる
- ・SNS活用(利用)、挨拶
- ・ボランティアをやってみようと思った
- ・人のためになることを積極的にする
- ・今からいつでも感謝する
- ・今すぐでも笑顔にしよう
- ・小さいことから始める、ゆとりを持つ
- ・ちょいボラ、ゴミ拾い、挨拶
- ・本日のようなイベントにもっと参加する
- ・時には黙って見守る
- ・説得できるような話術
- ・運営に入ってこれが実現できるようにする
- ・月に一回以上高梁に来ます
- ・真剣に取り組んでいることを真剣にみる
- ・高梁を盛り上げる案を実行します
- ・「アンチ胡散臭い」の続行
- ・環境カウンセラーの資格を取得する→そのための対策を始める
- ・人が困っていたら助ける、ボランティアに
- ・ボランティアでやったことをみんなに呼びかける
- ・今地方で起こっている問題を発見し、行動できる学生育て
- ・フューチャーセッションに市民を巻き込む行動
- ・毎日自分から話しかけます。変な人になる。
- ・会議で自分より従業員の方にたくさんしゃべらせる

4. アンケート結果のまとめ

1) 参加者

参加者は、一般市民13名、学生18名の31名であった。アンケートは28名の方からの回答があった。以下にアンケート結果をまとめた。

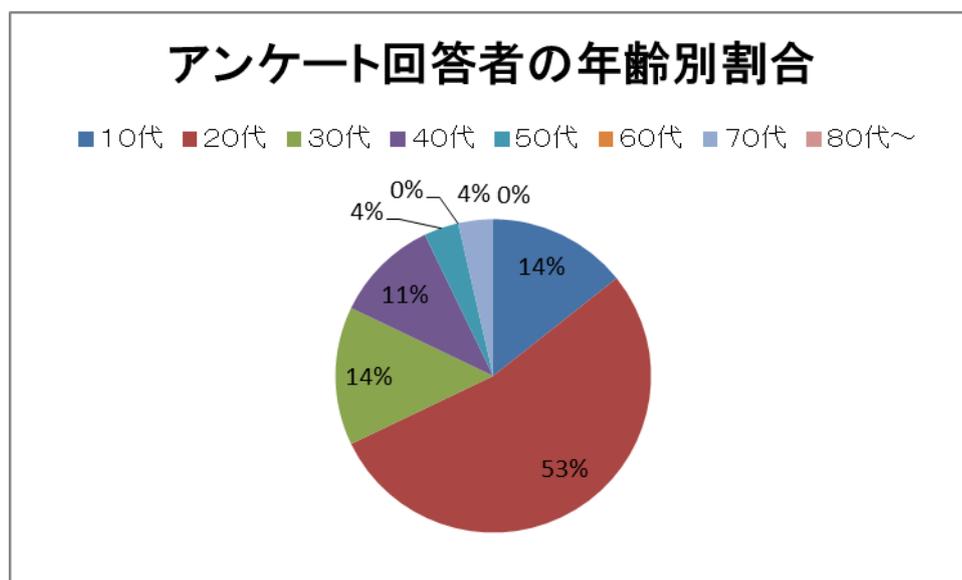
2) アンケート回答者の年齢・性別・居住地

アンケート回答者の性別は男性18名、女性10名であった。年齢は20代が多くなっているが、これは学生参加者の数を反映しているからである。今回の参加者は高梁市外の人の方が多いという結果であった。

年齢	来場者数
10代	4
20代	15
30代	4
40代	3
50代	1
60代	0
70代	1
80代～	0

性別	来場者数
男性	18
女性	10

居住地	来場者数
高梁市内	12
高梁市外	16

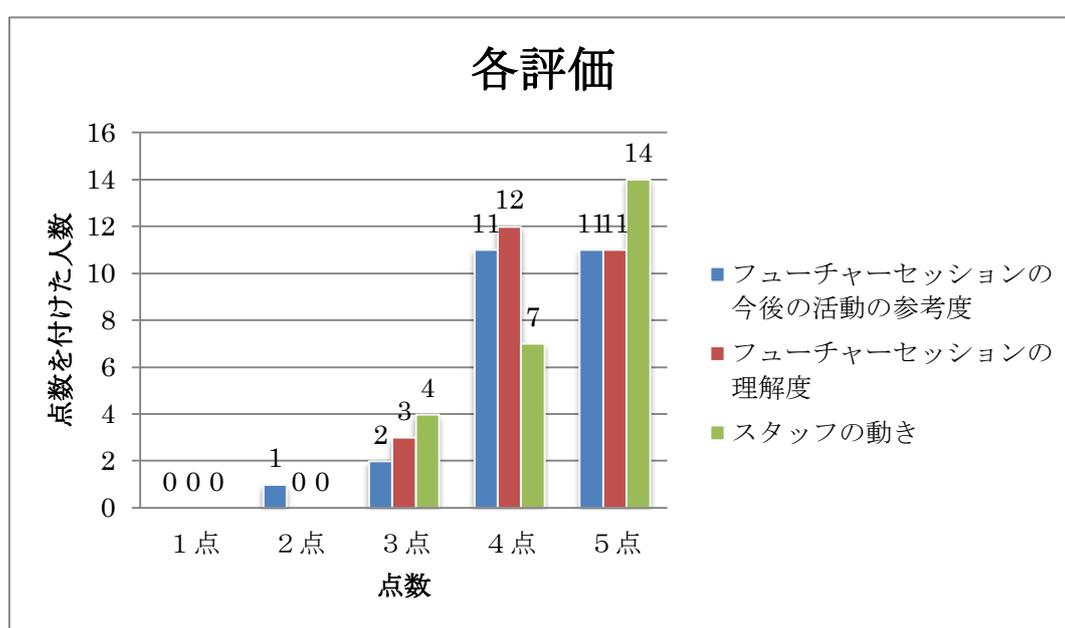


3) ワークショップ等の評価

「フューチャーセッションは今後のあなたの活動の参考になりそうですか」、「フューチャーセッションを理解できましたか」という質問に対して、4点と5点を付けた人が多く、フューチャーセッションをある程度理解していただけたと思うが、2点及び3点と解答した人もいることから、フューチャーセッションを理解していただくことは難しいということも分かった。また、「スタッフの動き」についてはまだ改善の余地があるということが示された。

図表：ワークショップの評価等に対する解答結果

	1点	2点	3点	4点	5点	有効回答	無回答
フューチャーセッションの今後の活動の参考度	0	1	2	11	11	25	3
フューチャーセッションの理解度	0	0	3	12	11	26	2
スタッフの動き	0	0	4	7	14	25	3



4) アンケート記載事項のまとめ

〈良かった点〉

- ・参加者の方と楽しく話せたこと
- ・休憩時間があって、リラックスできたこと
- ・一人一人が自分の意見を話せたこと
- ・皆で話し合うことでこれからの改善点が見つかった気がする
- ・同じ立場として話すことで意見が言いやすかった
- ・ストーリーテリングがよかったと思う
- ・時間通りに終わりました
- ・休憩時間がいっぱいありました
- ・皆の意見をたくさん話しました
- ・意見の交換もたくさんあります

- ・様々な年代、職種の人が集まって議論できたこと
- ・笑顔の人が多かった
- ・気づきや行動宣言がこれからにつながると思った
- ・たくさんの人とお話しできて良かった
- ・行動を起こす事の重要性を学んだ
- ・高梁市外、年代の違う人たちの意見を聴ける点
- ・地元高梁の事を考え直す（見つめ直す）きっかけになる
- ・脳が活性化する
- ・多くの参加者が積極的に話に参加していた
- ・雰囲気はやわらかく気さくな感じだった
- ・飲み物があったのは大変良かった
- ・中学生の福田君が頑張っていた
- ・いろいろな国籍の方が参加されていましたが、スムーズだったと思います。
- ・全部良かった！
- ・気楽な雰囲気
- ・スタッフの動き
- ・ちょうどいい時間だった
- ・色々な人の考え方に触れることができた
- ・総論賛成、各論自由なスタイルが良かった
- ・会話をしながらなので、参加した感がとても出ている
- ・いい雰囲気でできていた
- ・いろんな意見が聞けて良かった
- ・場の作り方がイイ！
- ・外国人がいたので多様性がよかった
- ・若い人たちと話が出来た
- ・多様性
- ・熱意のある学生に出会った
- ・楽しくできた
- ・色々な人と話が出来た
- ・笑顔になれた！
- ・終始笑顔でお互いの緊張感がすぐにほぐれたこと
- ・参加者全員としゃべれたこと
- ・皆の意見をもらいます
- ・学生である実行委員長がしっかりしていた
- ・フューチャーセッションという初めて参加する試みが、スムーズに体験できた
- ・様々な人の意見を聞くことができた
- ・とてもわかりやすかった
- ・とても参考になります
- ・普段話さないけれど、たくさん話すことができました

- ・色々な国、色々な年層の方々の考えを聞いた
- ・1つの考えについて長い時間考えるのではなく様々な考えを皆で考えることができた
- ・皆積極的に参加しました
- ・自由な雰囲気
- ・井勝ゼミの学生の動き
- ・フューチャーセッションの進め方
- ・会場の雰囲気づくり
- ・自分の再発見ができた
- ・様々な人と話すことができた
- ・考え方の共有ができる
- ・フューチャーセッションの理解
- ・フューチャーセッションがどのようなものか分かった点
- ・未来の可能性を共有できた点
- ・とても楽しいフューチャーセッションになった

〈悪かった点・改善点〉

- ・少し説明が長く感じた
- ・話す時間がもう少し欲しかった。そうすればもっと深められた気がする
- ・考える時間が短かった
- ・休憩する時間がもっと長い方がいい
- ・もう少し高梁の未来について考える事の出来るものにしてほしい
- ・もっと学生が林先生のサポートをするべきだった
- ・プロアクションカフェの1セッションが短かった
- ・学生がかたまってしまった
- ・外部の方の参加が少ないのが残念だった
- ・もう少し時間が欲しかった
- ・若干、発表者に負担をかけすぎな気がした
- ・もう少しスタッフが動けていたらよかった
- ・時間配分
- ・進行説明が分かりづらい
- ・継続して参加するための具体的な方法。次回へのつながりが欲しい
- ・一般参加者をもう少し増やしたい
- ・指示の不明瞭
- ・計画力
- ・最後のチェックアウトの時間をもっととるべき
- ・もう少し学生が動くべき

〈スタッフの動きで気になった点〉

- ・学生目線で練習どおりにいかなかったところがあった
- ・リラックス

〈感想〉

- ・自分の意見もちゃんと言えて、みんなの意見も聞けて楽しくできた
- ・とても楽しかった
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・1度飲み会やりましょう
- ・多国籍、様々な年齢の方と真面目に、気さくに話し合えて大変有意義だった
- ・あつという間で楽しかったです
- ・今日はいろいろな意見を聞きました。たくさん考え方を知りました。ほんとに楽しかったです
- ・林先生のワークショップを体験し、新しい発想を引き出す技を学べた気がする。ありがとうございました。
- ・楽しかったし意外な共通点が見つかってよかった
- ・今日のこの時間がいい方になってきて、ありがとうございました
- ・色々な気づきがありました
- ・こういった参加型のイベントはあまり見ないのでとてもよかったです
- ・いい雰囲気楽しくやることができました。他の人の話を聞いていろんな発見もあったので、よかったです
- ・フューチャーセッションをまた高梁でやってください
- ・また参加したいです
- ・今日のテーマは笑顔です。私は笑顔が大好きです。
- ・楽しかったです
- ・とても参考になりました。これを学校で活かしていきたいです
- ・次回以降も頑張ります
- ・様々な人とかかわる場を持つことで考え方の多様性について理解を深めることができました。
- ・地(知)の拠点の取り組みになり、昨年より回数が増えますが、残りの4回も今回を発展させた内容でやっていきましょう
- ・次も参加したいと思った
- ・チェックアウトで行動宣言を発表したが、各々の背景(どうすれば笑顔になれるのか)がなかったので、何を目的に行動するのか、イメージがつかなかった
- ・最後は結局自分次第(参加者次第)だと思った

4. おわりに

吉備国際大学学生の企画・運営による「エデュカーレ in たかはし」を開催し、学生にとっては大学では学べない多くのことを学ぶことができました。この企画は学生が、高梁という地域で、地域とともに学ばせていただき、少しでも地域貢献できればとの思いから企画されたものです。

今回は、地域での笑顔を考えるフューチャーセッションを行いました。高梁で行うのであれば高梁の事について考えるべきだという意見が多かったため、次回以降、題材の選考に努めます。

また、実行委員の反省点としてはマイクの受け渡し、移動の際の人の誘導など、スタッフのサポート、気遣いが潤滑にできなかったのが随時改善し、気を付けたいと思います。さらに、アンケートの評価のフューチャーセッションの今後の活動の参考度がやや低めの評価であり、やはり総論賛成、各論自由という手法は受け入れるのが難しいという結果が表れました。しかし、「自分の意見の発表がしっかりできて良かった。」という意見もあったのでフューチャーセッションの難しさが如実に出たフォーラムであったと思います。

これまで、フューチャーセッションの手法を取り入れたフォーラムはあま開催されていませんが、これを機会にフューチャーセッションが広まることを期待しています。

5. 付録

1) 実行委員名簿

◇実行委員長

在末 潤平 (社会科学部 経営社会学科 3年)

◇副実行委員長

中谷 雅尚 (社会科学部 経営社会学科 2年)

大川 朱里 (社会科学部 経営社会学科 2年)

◇実行委員

荒木 佑介 (社会科学部 経営社会学科 3年)

板垣 拓哉 (社会科学部 経営社会学科 3年)

高山 眞紀子 (社会科学部 経営社会学科 3年)

蔣 雋二 (社会科学部 経営社会学科 2年)

楊 涵 (社会科学部 経営社会学科 2年)

枝光 広斗 (社会科学部 経営社会学科 2年)

的場 美希 (社会科学部 経営社会学科 2年)

行森 俊紀 (社会科学部 経営社会学科 2年)

韓 贊熙 (社会科学部 経営社会学科 2年)

2) 実行委員会の振り返り結果

良かった点

- ・いろいろな意見が出てよかった。
- ・実行委員がそれぞれ動けていた。
- ・一人で考えるのもいいけど、多数と考えて行動することも大切。

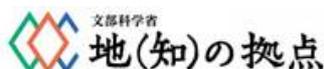
悪かった点

- ・準備段階で、役割分担をできていなかった。
- ・細かな気遣いができていなかった。
- ・マイクを学生で回すべきだった。
- ・学生が固まりすぎていた。
- ・実行委員として動けなかった。

気付き

- ・ゼミ内と違い、積極的に意見が出せなかったのが、日ごろのゼミ活動の大切さが分かった。
- ・フューチャーセッションにもいろいろなやり方があることが分かった。
- ・実行委員や司会の雰囲気が必要なことが分かった。
- ・初めて参加してくれた2年生がしっかり動けていた。
- ・準備・進行がしっかり、スムーズにできていた。
- ・みんなで自分の意見と感想を発表できてよかった。

3) ポスター・チラシ



本取組は吉備国際大学「だれもが役割のある活きいきした地域の創成」事業で、平成25年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」として採択され支援を受けています。

平成27年度第1回 エデュカーレ in たかはし

フューチャーセッションが高梁にやってくる

フューチャーセッションとは、多様な参加者が集い、参加者各自が問題を自分の事として捉え、参加者みんなが共感できる未来をイメージし、参加者各自がその未来の実現に向かって主体的に行動することを、効率的・合理的に実現する、会議・話し合いの手法です。総論賛成、各論自由、最適解のない複雑な問題を解決するために対話により、協調アクションを生み出すワークです。

岡山におけるフューチャーセッションの第一人者である林俊克先生をお招きして、笑顔あふれる生き方について、フューチャーセッションを体験しながら参加者の皆さんと一緒に話し合います。

日 時:平成27年6月20日(土) 13時30分～17時30分
(13時00分受け付け開始)

会 場:吉備国際大学国際交流会館2階多目的ホール

～テーマ～

X年後の未来

～あなたの笑顔を探してみませんか～

講師 林 俊克 (就実大学経営学部 教授)

SILLAFS(Social Innovation Laboratory for Local Act through Future Sessions) 主宰



参加費無料 どなたでもご参加いただけます (中学生・高校生・大学生・若者 大歓迎)



主 催:吉備国際大学
実施主体:エデュカーレ in たかはし実行委員会
後 援:高梁市、高梁商工会議所青年部
協 力:吉備国際大学社会科学部 井勝研究室
吉備国際大学地域創成農学部 森野研究室
吉備国際大学外国語学部 大下(朋)研究室

連絡先
〒716-8508 岡山県高梁市伊賀町
吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科
井勝(いかつ)研究室
TEL/FAX:0866-22-9223
E-mail:ikatsu@kiui.ac.jp

「エデュカーレ in たかはし」

社会に働きかけができる種々の能力を身につけた若者を育成するため、学生が実行委員会を組織し、学生自ら企画立案および運営をおこなうワークショップ型のフォーラムです。ファシリテーション能力を備え地域課題を解決するための手法を身につけた市民や学生を育成することを目的としています。

4) アンケート

平成27年度 第1回 エデュカーレ in たかはし

アンケート

年 齢： 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80以上

性 別： 男性 ・ 女性

居住地： 高梁市内 ・ 高梁市外

★フューチャーセッションは今後のあなたの活動の参考になりそうですか？

参考にならない 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 参考になる

★フューチャーセッションを理解できましたか？

理解できなかった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 理解できた

★スタッフの動きはいかがでしたか？

悪かった 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 良かった

(気になった点：)

本日のフォーラムの良かった点をご記入下さい

1. _____

2. _____

3. _____

本日のフォーラムの悪かった点、改善点を教えて下さい。

1. _____

2. _____

3. _____

感想をご記入下さい。

ありがとうございました

5) 写真

①受付風景



②実行委員長挨拶（在末） 司会進行（荒木）



③林先生の講義「フューチャーセッションとは」



④チェックイン（自己紹介シートを持っていろいろな人と出会います）



⑤チェックイン後の振り返り



⑥ストーリーテリング（私が笑顔になれるとき）



三人一組でストーリーテリングを行います。



⑦プロアクションカフェのテーマ出しその1 (6つのテーマを出してもらいました)



プロアクションカフェのテーマ出しその2



プロアクションカフェのテーマ出しその3



⑧プロアクションカフェその1 (課題の抽出)



プロアクションカフェその2 (大切なことのアドバイス)



休憩を入れながらワークを進めます。



プロアクションカフェその3 (不足していることのアドバイス)



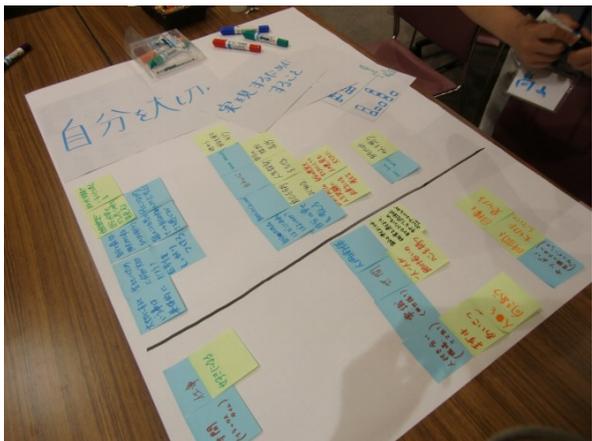
プロアクションカフェその4 (はじめの一步: 発表用のまとめを行います)



プロアクションカフェその5 (発表用のまとめを行います)



プロアクションカフェその6 (発表用のまとめを行います)



プロアクションカフェその7 (発表その1)



プロアクションカフェその7 (発表その2)



プロアクションカフェその7 (発表その3)



⑨チェックアウト (感想と今後の行動計画を発表しました)



チェックアウトその2



⑩閉会の挨拶（高梁商工会議青年部徳田会長）



